



「一家に一台はあった!?!」 彦根の「カロム」とは…

彦根には「カロム」と呼ばれるレトロなボードゲームがある。おはじきとビリヤードを組み合わせたような盤上のゲームで、かつて地元では一家に一台はあったという定番の遊び。カロムに類似したゲームは世界中にあるが、原型はエジプトで生まれたともいわれている。明治に日本に伝来し全国に広がったものの、戦後はなぜか彦根市近辺にしか残らなかった。そんなユニークな地域文化を再認識し、全国に発信しようと「カロム日本選手権大会」が毎年6月に開催され、県外からの参加者も増えてきている。

暮らしの中に 滋賀の 風

Shiga-nized Life
Scene

1

レトロな遊びが進化!?! 「戦国カロム」参上!

遊び心から生まれた 「戦国カロム」

彦根伝統の「カロム」を新たな切り口で紹介できないかと考えたのは、丸松木材株式会社社長の松田充弘さん。「関ヶ原合戦を盤上に再現してみたら…」という遊び心から「戦国カロム」が誕生した。昨年10月のイベントでお披露目され、戦国武将ブームが高まるなか、メディアにも注目され話題となった。盤の表面には「関ヶ原合戦図屏風」がプリントされ、バックと呼ばれるコマには東西両陣営の武将の家紋や旗印が記されている。



昨年11月の「ひこね甲冑祭」では石田三成と井伊直政が対戦!?(丸松木材提供)

「カロム」で 家族団らんの時間を

「戦国カロム」が注目され、それが彦根の町の活性化にもつながればうれしい。いずれは実際の関ヶ原の地で戦国カロム大会をやってみたいですね」と松田さん。大坂の陣、川中島の合戦など新バージョンの展開にも期待が高まる。
「カロム」は昨年公開されたご当地映画「偉大なる、しゅららばん」の中にも登場して話題に。デジタルな時代といわれる昨今だが、木のぬくもりが感じられ心熱くなる「カロム」で家族団らんの時間を過ごしてみたいか?

取材協力

丸松木材株式会社



1949年創業。「彦根のまちから、ずっと、もっと。」をキャッチフレーズに、木材製品、建材等を販売。木の情報を発信するセミナー、イベントも開催。

彦根市古沢町646 TEL.0749-22-5535
<http://marumatsu-mokuzai.co.jp/>

ルールは通常のカロムと同様。1対1もしくは2対2の対戦でビリヤードのように自分のバックを落としていくゲームだが、「戦国カロム」では敵陣のバックを四隅のポケットに落とし、最後にジャック(天下人)を落としたチームが勝ちとなる。「戦国カロム」は受注生産で価格は3万5千円(税別)。

